

博士論文発表会

哺育子牛への酪酸給与による発育と健全性の 向上に関する研究

発表者：村山恭太郎（生物資源科学P）

日 時：2月15日（水）13：00～14：00

開 場：生物生産学部C315

我が国の酪農基盤維持においては乳用後継牛の確保が課題となっています。この課題は乳用牛への黒毛和種精液の交配割合の増加や哺育期の高い死廃率が背景にあり、哺育期に子牛の発育と健全性を高める哺育技術の確立が必要です。本研究では、飼料添加が可能な機能性成分として中鎖脂肪酸および酪酸に着目し、代用乳への中鎖脂肪酸および酪酸の添加およびスターターへの酪酸の添加が哺育子牛の発育および健全性に与える影響を検討し、代用乳への中鎖脂肪酸およびトリブチリンの添加およびスターターへのトリブチリンの添加は、ルーメンおよび下部消化管の発達を促進することで、子牛の健全性を担保しながら発育を高めることができることを明らかにしました。この成果を活用した代用乳の開発が期待されます。

本発表会は統合生命科学研究科・共同セミナーの対象となります。



問合せ先 杉野利久 e-mail: sugino@hiroshima-u.ac.jp